

教員採用の基本方針

学長 大塚伸夫

大正大学は平成 28 年度に創立 90 周年を迎え、地域創生学部と心理社会学部を加えて、6 学部 11 学科の編成で新たにスタートした。教員は建学の精神「智慧と慈悲の実践」を具現化した 4 つの人となる「自灯明・中道・慈悲・共生」の教育ビジョンのもと、学生に対する教育研究指導・学生生活指導・就職支援・社会貢献などの諸活動を、職員とともに協働して展開している。

したがって、上記の「4 つの人となる」教育ビジョンにもとづいて策定された TSR シップ（教員版）を基軸として、教員採用の方針とする。

① 自灯明（真実を探究し、自らを頼りとして生きられる人となる）

教育・研究・就職支援・社会貢献の諸活動を通じて自己を確立し、理性と品性ある言動をもって学生に範を示すことができる教員。

② 中道（執われない心を育て、正しい生き方ができる人となる）

教育の場にあって、公正で公平な視点をもって学生に接し、教育組織のすべてを活用して、教育の向上と質保証のために尽力できる教員。

③ 共生（共に生き、ともに目標達成の努力ができる人となる）

学生とともにあって、学生の目標達成のために良き補助者・牽引者となることを心がけ、アクティブラーニングを推進する教員。

④ 慈悲（生きとし生けるものに親愛のこころを持てる人となる）

建学の精神である「智慧と慈悲の実践」を教育の根本に据え、すべての者の幸福のために学生とともに努力できる教員。

10 年後に迎える 100 周年をめざして「人の幸せを探究し、地域・社会に貢献できる人材を育成する大正大学」を実現すべく、原則上記 4 つの基本方針のもとに教員を採用する。